

アル・アクサ洪水第510日：カイロでの会談 | 南部ハイファでの負傷者 | 「奇襲攻撃」

Palestine Chronicle、2025年2月27日、脇浜義明訳 *脚注は訳注



解放されたパレスチナ人囚人たちは、イスラエルの拘置所での激しい拷問と虐待のために入院した。(Photo: via social media, QNN)

主要事項

*パレスチナ・レジスタンス（ハマス）は4人のイスラエル人遺体を渡し、イスラエルは法医学で遺体に身元確認をした。

*数百人のパレスチナ囚人が釈放された。彼らはイスラエル刑務所で受けた拷問と虐待を語った。

*ガザ・ジェノサイドの死者48,365人、負傷者111,780人、行方不明者14000人。

最新情報

2月27日 11:55 pm (パレスチナ時間)

*ヒューマン・ライツ・ウォッチ：イスラエル当局は医療従事者がガザに入ることを妨害している。イスラエルの同盟国政府は、イスラエルに占領者としての義務を果たせ、医療関係者のガザ入場を許可せよと、圧力をかけるべきだ。

*イスラエル軍調査団：軍は大規模な奇襲に対して常に備えていなければならない。国境を防衛するために、軍の規模と資源を増加すべきだ。攻勢的な国境防衛政策を採用することを調査団は勧告する。敵は10月7日にガザ回廊周囲の町やネゲブ西部を制圧する作戦を成功させた。

*エルサレム・ポスト（空軍筋を引用）：あの10月7日に空軍をもっと違う形で使って欲しかった。あの日空軍は「ダモクレスの剣」作戦であるハンニバル指令を発動して、ハマス指導者やハマス司令部を攻撃し、動くものは

何でも撃った。もしヒズボラがハマスの奇襲に呼応して奇襲をかけていたら、空軍は非常に困難な状況に追い込まれていたであろう。空軍の計画はガザを過小評価し、レジスタンス戦士を軽く見ていた。

*エルサレム・ポスト（軍調査団を引用）：ガザのハマスが使ったイスラエルのSIMカードには我々が知らない情報があった。10月7日ほとんどの空軍士官は休暇のために南部にいなかった。南部方面隊は10月7日奇襲の多角的性質を知らなかった。

2月27日 10:14 pm

*イタマール・ベン・グヴィル：私は、安全保障大臣時代、私の管轄下にある刑務所のパレスチナ人囚人に対する処遇をもっと緩和せよと、米バイデン政権から圧力を受けたことがある。

*フランス外務省：ネタニヤフがフランスへ来れば、フランス司法が彼を戦争犯罪者として逮捕するかどうかを決定し、政府はその決定に従う。

*イスラエル・ハヨム：首相府は、軍が10月7日の件の調査結果を首相に送ってこなかったことで、軍を叱責した。

2月27日 6:16 pm

*タイムズ・オブ・イスラエル（元安全保障大臣イタマール・ベン・グヴィルを引用）：ベン・グヴィルはネタニヤフ首相がトランプ米大統領のガザ・パレスチナ人移転案を実行するならば、閣僚に復帰すると述べた。

*ハマスのイスラエルのハデラ市近くのキルヤット・エクロンで車両を衝突させナイフで攻撃した事件は、イスラエルのテロに関わらずレジスタンスが続いているという証拠だ。

*イスラエル救急隊：ハイファ近くのキルヤット・エクロンで車両を衝突させナイフで襲撃した事件で、10人が負傷した。そのうち2人は重傷である。

*アル・ジャジーラ特派員：第7次捕虜交換で釈放された46人の子どもと女性がガザ回廊へ到着した¹。

*エルサレム・ポスト（政府当局者からの情報）：ネタニヤフが交渉団をカイロへ派遣した後で、ネタニヤフ政府は第一段階の実施を延長すると宣言し、そうする態勢にある。政府当局者は合意の第一段階の継続と毎週3人の人質の解放を望むと述べた。

*ウィトコフ：ガザ停戦の第一段階はそれだけで大きな業績で、トランプ大統領のおかげである。トランプの選挙勝利と彼の「力による平和」というスローガンが中東地域に響き渡り、すべてを動かしたのだ。将来、ハマスはガザにも西岸地区にも存在することはできなくなる。彼らの行動がそういう資格がないことを物語っている。ハマスに対する寛容は不必要で、彼らのテロ行為はトランプ大統領からレッドラインとされている。

*アル・ジャジーラ：ハーン・ユニス東部のアバサン・アル・カビラ付近で、自分たちの家がどうなっているかを見に来たパレスチナ人の集団に、イスラエル無人機が爆弾を投下した。

2月27日 3:18 pm

*イスラエル首相府：ネタニヤフ首相は、ガザに関する交渉を続けるために今晚交渉団にカイロへ出発せよと命じた。チャンネル12は、この決定は、首相、安全保障関係指導者、閣僚による会合を二回行った後で、発せられたと報道した。情報筋によると、首相は「わが国の息子と娘たちを全員取り戻すまで、容赦ない行動を続ける」と述べた。

*ハマスのイスラエル・カツ国防大臣は、我々が停戦の間にイスラエル兵と入植地を攻撃する計画を練っていると発言したが、まったく根拠がなく、誤解をばらまくものである。またガザとエジプトの間の国境地帯を緩衝地帯として立ち入り禁止にするというカツの発言は、明らかに停戦合意違反である。仲介国と国際社会はイスラエルが停戦合意を守るように圧力をかけ、ネタニヤフが停戦の妨害をするのを止めなければならない。

*チャンネル12（カツ国防大臣の発言の引用）：第一段階が終了し、我々は25人の生存している人質を取り返した。わずか10人か12人の人質をめぐる交渉が何回も行われている。人質全部を取り返す一番よい方法は、イスラエル軍がいつでも戦争に戻る態勢にあることをハマスに分からせることだ。

¹ この釈放は合意の予定時期よりも遅れて実行された。

*パレスチナ保健省：占領地西岸地区のナブルスの東にあるバラータ難民キャンプで占領軍が銃撃し、パレスチナ人1人が死亡した。

*釈放されたパレスチナ囚人ナエル・バルグーティ（アル・ジャジーラのインタビュー）：我々囚人は絶えず暴行され、拷問や辱めを受け、まるで戦争犯罪者のように扱われた。拷問や殴打などの虐待で、骨折や大怪我をした囚人が多かった。昔の野蛮文化時代みたいに手かせ・足かせで拘束された。レジスタンスは囚人だけでなく、パレスチナ民族の解放に向けた戦いだ。郷土を解放する戦いだ。我々の先人たちがそのために多くの命を犠牲にして戦った²。

*チャンネル12（政府の会計監査役を引用）：イスラエル軍幕僚長とシン・ベト長官が2023年10月7日の防衛の失策への調査を妨害している。

*アル・ジャジーラ：イスラエル占領軍のジェニン難民キャンプの入口への銃撃でパレスチナ人女性が負傷した。イスラエル軍狙撃兵が、家を破壊されて難民となったパレスチナ人がジェニン難民キャンプへ行こうとするのを、銃撃した。占領軍はジェニン難民キャンプ周囲の地域を封鎖し、赤三日月社の救急車を拘束した。

*イエディオト・アハロノト：第二段階に移る交渉は来週にカイロカドーハで行われるだろう。米国特使のステイヴン・ウィトコフは来週初めの中東訪問し、イスラエルを訪れるとされている。

2月27日 11:49am

*イスラエル・カッツ国防大臣：レバノンやシリアで行ったように、ガザでもフィラデルフィ回廊を完全な緩衝地帯にする。我々はハマスが停戦中にイスラエル兵士と入植地を攻撃する計画を立てているという情報を得た。

*チャンネル14：イスラエル軍おとり部隊がナブルス東のバラータ難民キャンプで手配中のパレスチナ人を見つけて殺害した。

*チャンネル12：ネタニヤフは今日の安全保障会議で第二段階の交渉に交渉団を派遣するかどうかを決めるだろう。安全保障関係の指導者は、パレスチナ囚人に関するイタマル・ベン・グヴィルの発言がガザの人質の処遇に悪影響を及ぼすのではないかと懸念を表明した。

*ハマス：我々はイスラエルに合意事項違反をさせないために捕虜交換の同時進行を主張した。我々は停戦協定を守り、第二段階交渉に入る準備が出来ている。

*イスラエル警察とシン・ベト：イスラエル中央地区ペタフ・ティクヴァのイスラエル人がイランのスパイだという容疑で逮捕された。

*イスラエル・メディア：法医学研究所が手渡された人質の遺体がイスラエル人であることを確認した。

*フィナンシャル・タイムズ（死亡した人質シェリ・ピバスの姉の言葉）：死んだ人質の命を救うことができたのに、イスラエル政府は「人質の命よりハマスへの報復を優先したために、人質が死んだ」。

ガザ戦争初期に、ハマスのアル・カッサム旅団は捕虜交換、人質全員の解放とパレスチナ囚人全員の釈放の交換を提案したが、イスラエル政府はそれを拒否した。

*イスラエル軍ラジオ放送：2023年10月7日事件のときシン・ベト業務部門の長だった人物は、数週間後に辞任する。

*チャンネル14：イスラエル軍の10月7日奇襲攻撃に関する調査をめぐって、犠牲者の遺族の間では怒りの声がある。昨日、8200部隊の元司令官のヨッシ・シュリエル准将は、10月7日イスラエル軍が数時間狼狽して、アル・アクサ洪水を阻止できなかったことを認めた。

*エルサレム・ポスト（情報筋を引用して）：次の段階に関する同意がなくてもガザ停戦は続き、崩壊しないであろう。

*カン：ガザのレジスタンス運動から渡された4人の人質の遺体は最初の身元確認を終わり、現在、法医学研究所へ運ばれている。

² ナエル・バルグーティは45年間もイスラエル刑務所で拘禁されてきた人物で、パレスチナ人の精神スモードのシンボルである。釈放されたが、西岸地区へ戻されず、パレスチナから追放された。

* アクシオス (イスラエル政府当局者を引用) : 本日イスラエル交渉団がカイロかドーハへ向かうものとされている。停戦を42日間延長する合意を成立させ、その間にできるだけ多くの人質とパレスチナ人囚人との交換をするのが、イスラエルの目的である。

* アル・ジャジーラ : 道路が臨時ゴミ廃棄場となって、約170,000トンの廃棄物が堆積しているため、ガザ市は人体と環境への大きな危険に直面している。